予算特別委員会の審査報告

平成16年度 新規事業

（単位：千円）

〈健康でしあわせにみちたまちをめざす〉

○河原保育所建替え事業（基本設計費）　10,000

○松井山手駅前保育事業　10,284

○ファミリーサポートセンター事業　6,739

○保健センター増改築事業　107,000

〈心豊かな人づくりと文化の伝統をきづくまちをめざす〉

○松井ケ丘幼稚園園舎増築事業　148,600

○学校、幼稚園、保育所等安全対策事業　17,500

〈京阪神大都市圏の中核成長都市としてのまちをめざす〉

○ＪＲ同志社前駅周辺整備事業　71,550

○近鉄興戸駅エレベーター設置事業　69,200

○（仮称）草内美泥排水路整備事業　30,000

〈緑豊かで明るく快適な生活環境をめざす〉

○リサイクルプラザ建設事業　486,000

〈多様で活力ある産業がいきづくまちをめざす〉

○商店街生き生き支援事業　10,000

〈市民と行政の連携によるまちづくり〉

○行政評価（事務事業評価）導入調査費　2,950

平成16年度予算を可決

一般会計は217億5千万円に

平成16年度当初予算会計別内訳　（単位：円）

会計別＼年度別		平成16年度	平成15年度	比較	伸率
一般会計		21,750,000,000	19,430,000,000	2,320,000,000	11.9%
特別会計		13,909,300,000	12,007,200,000	1,902,100,000	15.8%
（内訳）	国民健康保険	4,079,100,000	3,263,900,000	815,200,000	25.0%
	松井財産区	4,600,000	4,700,000	▲100,000	▲2.1%
	公共下水道事業	3,010,000,000	2,887,300,000	122,700,000	4.2%
	休日応急診療所	23,400,000	23,400,000	0	0.0%
	老人保健	3,677,500,000	3,749,700,000	▲72,200,000	▲1.9%
	農業集落排水事業	167,400,000	92,600,000	74,800,000	80.8%
	介護保険	1,858,100,000	1,638,300,000	219,800,000	13.4%
	産業立地	1,089,200,000	347,300,000	741,900,000	213.6%
水道事業会計		2,982,280,000	2,939,200,000	43,080,000	1.5%
合計		38,641,580,000	34,376,400,000	4,265,180,000	12.4%

予算特別委員会：９人（喜多英男委員長、塩貝建夫副委員長、市田博委員、上田登委員、小林喜代司委員、橘雄介委員、西川豊蔵委員、増富理津子委員、山下勝一委員）は、３月16日、18日、19日、22日、23日、24日の６日間委員会を開会し、定例会初日に付託された平成16年度京田辺市一般会計予算ほか、８つの特別会計及び水道事業会計の当初予算案、７件の平成15年度補正予算案について審査を行いました。

審査は部局別に、それぞれ質疑を行い、最終日には、５会派による総括審査を行った後、すべての予算案を可決しました。

平成16年度京田辺市一般会計予算は、厳しい社会経済情勢の中、急激な国の地方財政改革の大波を受けながらも、将来にむけたまちづくりと現下の市民生活の向上につながる諸施策への重点的・効率的な予算配分を行い、総額は２１７億５千万円となり、前年と比較して11・９％の伸びとなる積極型予算となっています。平成16年度京田辺市国民健康保険などの８特別会計予算は１３９億９３０万円となり、前年と比較して15・８％の伸びとなっています。また、平成16年度京田辺市水道事業会計は29億８２２８万円となり、前年度と比較して１・５％の伸びとなっています。

平成15年度京田辺市一般会計補正予算は、執行見通し等による不用額の減額及び職員の給与改定に伴う減額見込額の補正、また、基金への積み立てで５億１３６０万円の減額となっています。

平成15年度京田辺市国民健康保険特別会計の補正は、１億２２２９万円の追加、平成15年度京田辺市介護保険特別会計の補正は、６０７万６千円の減額、平成15年度京田辺市産業立地特別会計の補正は、１６８９万円の減額、平成15年度京田辺市公共下水道特別会計の補正は、１億１４９１万９千円の減額、平成15年度京田辺市農業集落排水事業特別会計の補正は、５百55万３千円の減額、平成15年度京田辺市水道事業会計の補正は、１億５６１４万３千円の減額となっています。

各部局別審査の主な質疑は、次のとおりです。

市長公室・総務部・消防本部

問　市税の収納体制を強化すると言っているが、滞納の状況は。

助役　収納対策本部を４月に設置して、現行の徴収体制を活用しつつ職員配置を行う。

税務課長　２月末で国保税を含み12億１５００万円余りとなっている。現年度分は6～7千万円。

問　長期滞納分をどのようにして徴収していくのか。

税務課長　現収納体制の中で現年分中心に徴収を行い、滞納整理組合とタイアップして徴収する。差し押さえの専門職員を整理組合に配置する。

問　給与、報酬を受けている者で滞納者は。

税務課長　複数名いる。職員は調査中、報酬を受けている者は2名で直接話をし、３月末までに解決することになっている。

問　法律が終了したが税減免はどうなったのか。

税務課長　評価を調整して軽減していたが、是正は次の評価替え時に対応する。新築家屋の評価は軽減をなくす。

問　経費削減に向け行政評価制度を導入するが、調査費の内容は。

政策推進課統括主幹　全職員の認識が大切であり、職員自らが事務の流れについて点検を行い課題を抽出する。コンサルのノウハウも活用したい。

問　飯岡区で自主防災組織が出来た。今後の計画は。組織の単位は。

管財防災課指導主幹　松井ケ丘自治会とアカデミアの団地から声がある。

管財防災課長　組織としては、いろんな形態がある。補助金の交付要綱では区・自治会に認められた組織となっている。

問　北部の消防分署機能が強化されるが。南部地域の考えは。

消防次長　消防と救急が同時に出動できる体制になる。南部は開発の状況を見ながら考える。

問　女性センター建設の推進状況は。

政策推進課長　中核的拠点は、かがやきプランの中で検討。ルーム的なものが可能か、必要性についても検討したい。

問　ＪＲ同志社前駅の周辺整備計画は。

政策推進課長　安全対策、改札、駅前広場を整備する。事業費は同志社１億４３００万円、ＪＲ６７００万円の負担。

問　同志社住宅裏山で工事が行われ隣家に迷惑がかかっている。工事に対して市の対応は。

管財防災課指導主幹　三山木天神山で防災工事を行いたいとの届出があった。土採取条例の適用が出来ないので、８項目の指導を行った。

福祉部

問　松井山手駅前保育園が開設されるが、時期は、将来の予測は、スタッフは。

児童福祉課長　施設改造の遅れで、当初の７月の予定が、数か月遅れる。定員は30人で０歳・１歳児を預かる。職員配置は入所児の年齢により変わるが、松井ケ丘保育園の分園になるので調整してもらう。国の基準通り配置される予定。

問　緊急通報装置の設置状況は。

高齢介護課長　今回52台を設置予定。転出時には返還してもらうので、希望者への対応は図れる。

問　就学前まで乳幼児医療費助成が拡大されたが、さらに年齢拡大の考えは。

助役　国に助成をしてもらえないかと思う。今の所、拡大の考えはない。

問　次世代育成支援行動計画策定の進捗状況は。どういう形で事務に当たるのか。

児童福祉課長　市民ニーズの調査を実施。２４００世帯に送付して半数が回答され集計中である。学識経験・各種団体・市民公募２名の20名以内で策定委員会を設置する。

問　はいかい高齢者の家族支援サービスの内容及び確認方法は。

高齢介護課長　要介護認定を受けた65歳以上の高齢者に発信器を持ってもらい、情報を家族等に早期に伝え事故防止を図る。確認はインターネットからか業者への問い合わせになる。

問　ファミリーサポートセンター事業の実施に向けた現状は。

児童福祉課長　16年度中の開設に向けＮＰＯ法人の申請をされている。府でサポートのニーズ調査を実施された。

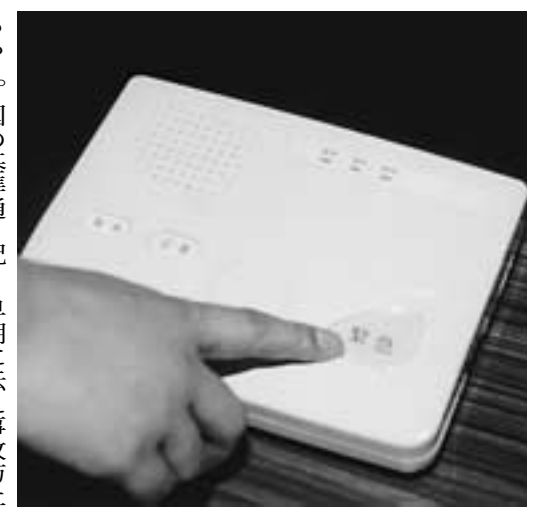
問　障害者の支援費制度の現状認識は。

社会福祉課長　事業所の参入が多く、居宅サービスは需要を満たしている。今後は、質の確保や制度の見直しがある場合は注目していきたい。

問　京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合負担は必要なのか。

人権啓発課長　新築資金貸付等のために作った管理組合への負担金である。滞納者・保証人に督促状を送付している。

市長　返済がスムーズに、法的措置も講じられることで組合を設立した。負担をしている以上メリットがなければならない。



高齢者のための緊急通報装置